

2025年度第53回国際コミュニケーション・フォーラム
／2025年度関西大会

情報通信技術と持続社会

日時 2025年9月10日（水）
受付14：30 開演15：00（18：00終了予定）

場所【メイン会場】大阪・関西会場内 EXPO サロン
（大阪府大阪市此花区夢洲東1丁目）

【サテライト会場】NTT西日本株式会社本社ビルA棟内会議室
（大阪府大阪市都島区東野田町4-15-82）

主催：公益財団法人情報通信学会

共催：公益財団法人 KDDI 財団、一般財団法人デジタル政策財団

協賛：公益財団法人電気通信普及財団

協力：NTT西日本株式会社

後援：総務省、NTT株式会社、NTT東日本株式会社、株式会社NTTドコモ、

KDDI株式会社、ソフトバンク株式会社、富士通株式会社、日本電気株式会社、

株式会社日立製作所、NTTドコモビジネス株式会社、NHK、

一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本新聞協会、

一般財団法人テレコムエンジニアリングセンター、一般社団法人電波産業会、

一般財団法人マルチメディア振興センター、一般財団法人情報法制研究所、

デジタル政策フォーラム

プログラム	
15:00	開会挨拶 内山隆（情報通信学会 会長/青山学院大学総合文化政策学部 教授）
15:05～15:45	基調講演 吉田奈穂子（エリクソン・ジャパン株式会社 ネットワークス R&D ジャパン 部長）
15:50～16:30	ショートプレゼンテーション 中間康介（青葉組株式会社 取締役） 東山真也（株式会社地域創生 Co デザイン研究所 取締役）
16:30～16:45	休憩
16:45～17:55	パネル・ディスカッション ○パネリスト 吉田奈穂子、中間康介、東山真也 ○モデレーター 岡田朋之（公益財団法人情報通信学会 評議員/関西大学総合情報学部 教授）
18:00	閉会

（敬称略）

■開催趣旨■

本年4月13日から10月13日まで開催される2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）ではテーマに「いのち輝く未来社会のデザイン」を掲げ、人間一人ひとりの生き方、可能性を最大限に拡大し、それを支える持続可能な社会の共創を国際社会が推し進めていくことが謳われている。その中での社会課題の解決には、ICT（情報通信技術）への期待が大きく込められ、具体的な内容としては、社会を豊かにするコミュニケーションの進化や、質の高い教育の提供、AIやロボティクスの活用による人間の可能性の拡張などが挙げられている。

今年度は合同開催となる国際コミュニケーション・フォーラム及び関西大会では、地球規模での気候変動への対応、社会的包摂など、持続社会を実現するための課題についてさまざまな取り組みが一堂に紹介される今回のこのイベントを、ICTの可能性についての理解と認識を発展させる上でまたとない機会と位置づけ、本万博に出展している賛助会員団体の協力も得ながら、知見を深め、広く議論する場としたい。

登壇者への質問について

ご質問のある方につきましては、受付にてお配りいたしました質問用紙にご記入の上、パネル・ディスカッション開始前までに会場内のスタッフまでご提出をお願いいたします。

【ご参考：懇親会案内】

日時：2025年9月10日（水）19時15分～

会場：関西大学梅田キャンパス4階 多目的ルーム「KANDAI Me RISE ラボ」

（大阪府大阪市北区鶴野町1番5）(<https://kandai-merise.jp/access/>)

JR「大阪駅」御堂筋南口から徒歩10分／阪急「大阪梅田駅」茶屋町側から徒歩5分

■ 登壇者プロフィール ■

基調講演



吉田 奈穂子 (よしだ なほこ)
エリクソン・ジャパン株式会社
ネットワークス R&D ジャパン部長

筑波大学大学院理工学研究科にて修士課程を修了後、日本電気株式会社にて、W-CDMA や LTE 等のセルラーシステムにおける無線リソースマネージメントに関する研究や 3GPP における標準化活動などに従事。その後、外資系モバイルベンダーにおける携帯端末のテクニカルマーケティングや、モバイルインフラのシステムエンジニアなどの業務を経験し、2015 年にエリクソン・ジャパンに入社。日本の通信事業者に対して LTE、セルラーIoT、5G 等のソリューション提案・導入を担当。特に、ネットワークスライス技術によるマネタイズやネットワークの省電力化によるサステナブルなモバイルネットワーク構築の提案等を推進。2024 年からは現職にて、本社の開発チームと連携し、製品品質の向上やテクニカルサポートを提供するチームをリードしている。業務の傍ら、武蔵野大学大学院にて環境マネージメントを学び、ICT 活用による脱炭素社会に対する貢献に関して研究。2024 年に環境学修士課程を修了。また、現在、総務省情報通信審議会専門委員も務めている。

パネリスト



中間 康介 (なかま こうすけ)
青葉組株式会社 取締役

九州大学大学院森林資源科学専攻を修了後 (株) 野村総合研究所にて、主に官公庁の調査・コンサルティング業務に従事。その後独立し、複数の新規事業を立ち上げに後、経済産業省・林野庁等のベンチャー関連政策のコーディネートを行う。その中で出会った中井と青葉組株式会社を共同創業し、取締役として事業開発を担当。

一般社団法人社会実装推進センター代表理事も兼任。

パネリスト



東山 真也（ひがしやま しんや）
（株式会社地域創生 Co デザイン研究所 取締役）

1996年、静岡大学人文学部を卒業。同年、NTTに入社し、NTT西日本グループにて営業、企画、サービス開発など多岐にわたる業務に従事。2022年にはNTT西日本富山支店長に就任し、地域との連携強化を図りながら、まちづくり、水産業の活性化、子ども食堂の支援など、地域創生に資する取り組みを推進した。

2025年7月より、NTT西日本グループの株式会社地域創生 Co デザイン研究所に出向し、取締役に就任。現在は、スマートシティ、観光、グリーントランスフォーメーション（GX）、地域医療などの分野において、地域住民・自治体・企業との共創を通じた社会実装を統括している。課題の探索から価値の創造、そして持続可能な地域社会の構築に至るまで、地域とともに伴走する存在をめざし、実践的な研究と取り組みを推進している。

モデレーター



岡田 朋之（おかだ ともゆき）
関西大学総合情報学部 教授

1965年大阪生まれ。大阪大学大学院人間科学研究科博士課程単位取得退学。

専門はメディア論・文化社会学。テーマは情報メディアの変容と日常生活で、モバイルコミュニケーションの社会学的研究においては自他共に認めるパイオニア。

近年は、21世紀以降の国際博覧会（万博）を中心に、デジタルメディアが普及した現代社会におけるメディアイベントのあり方や意義の変化について調査研究を続ける。2015～16年にはフィンランド、アールト大学芸術デザイン建築学部にて客員教授として、2022～23年にはオーストラリア、王立メルボルン工科大学デジタルエスノグラフィー研究センターにて客員研究員として滞在。2015年ミラノ万博（イタリア）、2017年アスタナ万博（カザフスタン）、2021～22年ドバイ万博（アラブ首長国連邦）では全パヴィリオンを踏査した。

主な著書に『ツーリズムの脱構築——地域の語りと観光・博物館・博覧会』（編著）関西大学出版部、『ケータイ社会論』（共編）有斐閣などがある。



〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル 11 階

TEL 03-5501-0566 E-mail: office@jsicr.jp

<http://www.jsicr.jp/>